

「こだいら特活の日」

代表委員がサミットで頑張りました！

先々週の土曜日は「こだいら特活の日」でした。

土曜授業参観で、どの学級も学級会をしたと思います。

この学級会には、大きなねらいがあります。それは、自分たちの生活は自分たちでよりよくするという心を育てることです。

協力の反対は自分勝手です。一見、自分勝手は、その時は居心地がいいように思いますが、自分勝手な人がいると、周りは嫌な思いをしたり我慢したりしなければならなくなります。結局、自分勝手な人の周りから笑顔はなくなり、自分勝手をした人自身も笑顔でいられなくなります。

また、他人のことは関係ない、自分は自分でちゃんとする代わりに他人とは関りたくないという考え方もあります。しかし、これでは、一人一人がばらばらで、冷たい雰囲気になり、困った人は困ったまま放っておかれることにもなってしまいます。結果的に「自分さえよければいい」という人の集まりは、いざというときに助け合いの難しいつながりの薄い社会になってしまいます。

「自分勝手」でなく「自分に関係ない」でもなく、「みんなで力を合わせて笑顔をつくって広げていこう」というのが学級会です。この学級会を日本中でやっているのです。「みんなのために！」と頑張る心を日本人は保育園や幼稚園の頃からずっと教えられてきました。掃除活動やお当番活動

など、それこそ何千時間も、繰り返し、繰り返し「みんなのために！」とやってきたのです。

ゴミが落ちていたら拾う、机が曲がっていたら整える、人と会ったらすすんで挨拶する、困っている人がいたら気付いて声をかける・・・

みんなが普通にやっていることは、「みんなのために！」と繰り返し取り組んできた成果です。そうやって、この国の「あたりまえ」をつくっていくのです。

みんなが土曜授業が終わって帰った後、小平市内の全ての小中学校の代表が集まって、「サミット」というそれぞれのまちをよくしていくための話し合いをしました。

昨年、八小は、五小、花小、花南中とで

「笑顔とあいさつでみんなをつなぐ～心も環境もきれいなまち～」

というまちづくり宣言をつくりました。

これをどのように実現していくか、どのように協力していくかの話し合いでした。

この後、参加した代表の児童にその報告と、皆さんへのお願いのお話があります。自分たちのクラスの笑顔は自分たちでつくるのと同じように、自分たちのまちの笑顔は、自分たちからつくり広げていくという気持ちが必要です。話をしっかり聴いて、みんなで力を合わせて「～心も環境もきれいなまち～」をつくっていきましょう。

では、代表委員の皆さんよろしくお願ひします。